

地区別体育授業改善研修会(中学校 R7.10.7)

本研修会の目的は、「『保健』の授業改善に係る研修を通して、教員の資質向上を図ること」です。当日は、提案授業並びに研究協議や講義・演習を通して、学習指導要領に基づく保健分野の授業づくりについて実践的に学ぶことができました。

1 単元とプロジェクトメンバー

単元名 保健分野(1)健康な生活と疾病の予防
(カ)健康を守る社会の取組

授業者 奥州市立江刺第一中学校 教諭 大向 真幸
支援員 奥州市立水沢中学校 教諭 菊池紘一郎
金ヶ崎町立三ヶ尻小学校 教諭 石亀 貴雅

2 授業改善の視点・提案授業の様子

【研究テーマ】

生徒が主体的に考え、表現する保健分野の授業づくり

① 自他の課題を発見し、自分事として考えるオリエンテーションの工夫



生徒が自他の健康課題の解決に向けて主体的に学びを進めていくために、生徒と題材との出会いを大切に、課題意識を醸成することで、生徒が自ら考え、調べ、課題解決に向けて学ぶ姿を引き出す意義を共有することができました。

② パフォーマンス課題を取り入れた評価方法の工夫

本時の課題

「県みらい健康課」

あなたは、岩手県みらい健康課の職員です。県民が健康に過ごしていくことができる取り組みを提案します。県民の理解が得られるように根拠を明らかにしながら提案書を作成しましょう。



教師が生徒一人ひとりの学習状況を的確に把握し、個に応じた支援を行うために、パフォーマンス評価とICTを組み合わせることで、生徒の学びを可視化し、自己評価や相互評価を促す手立てとして有効であることを確認することができました。

③ 個々の生徒が自力で目標達成に向かうことのできる学習形態の工夫(個別・協働・全体)



一人一台端末を活用し、調べ方やまとめ方、また個人・ペア・グループなどの学習形態を選択可能にしたことにより、生徒が自分に合った学習方法を選択し、自力で課題解決に向かう姿が見られました。

3 助言から

岩手県教育委員会 保健体育課 生駒大輔 主任指導主事

★ 生徒は授業に真剣に取り組み、学びに没頭する姿が見られた。授業の終末で「もう終わり?」と口にする生徒の姿からも、活動への充実感と達成感がうかがえた。単元を通して、自ら学びを進めようとする態度が形成されていたことは、本実践の大きな成果である。

★ 生徒の成果を全体で共有する時間を設け、学びの水準を可視化することが望まれる。他者の成果を称賛し合う場面を教師が意図的に設定することで、生徒の学習意欲がさらに高まることが期待される。また、パフォーマンス課題を通じた評価の明確化と、自己調整的な学びの深化を図ることで、単元全体を通じた資質・能力の育成が一層促進されることが考えられる。

【研修者からの感想】

- 生徒が自らの学びを自己調整していくために、「教科書を教える」から「教科書で教える」へ授業観を転換していく重要性を理解することができた。
- これまでは、教師主導の一方的な知識伝達の授業となっていた。これからは生徒が課題解決に向かって自ら知識を獲得していく授業を目指していきたい。

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた保健教育の授業の動画や指導案が掲載されています。ぜひご活用ください。

日本学校保健会「児童生徒の健康管理・健康づくり推進動画」

<https://www.gakkohoken.jp/health-management-and-health-promotion/>

